

統一



▼1面参照 [2]

# 選教団信者 電話かけ

関係遮断 自民本部が金庸かず



自身の選挙活動について書いた教団系の日刊紙『世界日報』などの記事を紹介する美馬秀夫・徳島市議

点を認めた都道府県議のうち、統一地方選に出た当選した議員は、間に上り、一方、教団と関係があつたとして影響を受けた議員もいる。

自民党的岐阜県議で、直近2回の市議選は自民から出た美濃氏だが、年末に徳島県連に自民を促されたといい、公認申請をあきらめた。

定数30に41人が立候補する中、20位で当選したのは信者たちだった。支援者の一人によると、「選挙を下支えしたのは信者たちだった」と語った。

朝日新聞による昨夏のアンケートで教団との接觸が代わる代わる来る限り、多くの国民議員が教団

中盤までの調査では勢の情報を得ていたが敗れた。「誘いに乗ってしまったのは自分の責任」としつづけた。事件前から党本部が関係遮断を宣っていたが、それが実現する」と宣言した。

期日だった山本勝敏氏(59)は2年ほど前、「世界平和」を冠する団体の人材と知り合った。「教団と関係がある団体とは思っていた」と話す。チラシについては「虚偽や印象操作が多くある」として、警察と検察に告発した。

中盤までの調査では勢の情報を得ていたが敗れた。「誘いに乗ってしまったのは自分の責任」としつづけた。事件前から党本部が関係遮断を宣っていたが、それが実現する」と宣言した。

19年の選挙で、後援会に

教団関連団体の関係者がいて、「電話かけ」をしてもらつたという。銃撃事件後は距離を置くようになり、今春の統一地方選は手伝つてもらわなかつた。得票数は約2千票減った。関係遮断について、本部が関係遮断を宣っていた。関連団体のセミナーに参加した時、自民の国会議員がいるのを見えて安心してしまった面もあった」と話す。チラシについては「虚偽や印象操作が多くある」として、警察と検察に告発した。

「世論がああいう状況になつた以上はするしかない。ただ……」と継ぎ、「その人も1票持つている支援者の一人。やめてくれとも言えん。何が正しいかわからん」と漏らした。

今は手紙が多数届いており、生い立ちに同情するものが目立つという。拘置所内では新聞や書籍を読んで過ごし、書籍のジャンルは、近現代史に関するものが多い。「國家」や「政府」に関するものへの関心が強いといふ。

## 建前と捉えても

### 解散命令の請求

事件から1年を前に、旧統一教会の問題に取り組む「全国靈感商法対策会議連絡会」(全国弁護士連絡会)が7日、東京都内で記者会見した。文化庁

一方で国会で、安倍晋三元首相が奈良市で選挙応援の演説中に銃撃され、死亡した事件から8日で1年となる。殺人などの罪で起訴された山上徹也被告(42)の裁判に向けた準備が進む。

山上被告は凶器となった銃の製造のほか、火薬を製造・所持したとして、銃刀法違反や火薬類取締法違反などの罪で起訴された。逮捕後、殺人容疑は認めていた。弁護団によると、「証拠の量が膨大」などとして、初公判は来年以

## 山上被告 新聞・本読む日々 銃撃事件きょう1年

安藤晋三元首相が奈良市で選挙応援の演説中に銃撃され、死亡した事件から8日で1年となる。殺人などの罪で起訴された山上徹也被告(42)の裁判に向けた準備が進む。

山上被告は凶器となった銃の製造のほか、火薬を製造・所持したとして、銃刀法違反や火薬類取締法違反などの罪で起訴された。逮捕後、殺人容疑は認めていた。弁護団によると、「証拠の量が膨大」などとして、初公判は来年以

統一地方選を控えた3月10日、徳島市議会である議員が熱弁を振るつていた。

「パートナーシップ制度は、同性婚合法化につながる間違った考え方あります」議員者は国民議員の美濃秀夫氏(73)。世界平和統一家庭連合(旧統一教會)の信者であることを公認してきた。議会後、朝日新聞の取材に「はっきり言ひほうが支持は広がる」と語った。

しかし、いき選舉が始まると様子が違つた。4月16日の出陣式。第一声指針「ガバナンスコード」を改め、「教団や関連団体とは一切関係を持たない」「地方議員にも徹底する」と宣言した。

党本部は昨年10月に選舉直後、美濃氏は国民党の会派に戻つた。当選直後、美濃氏は自民党政権だから。打算だ。党本部から注目はない。どう。「関係を絶つと言つてはいるが本年度は半分ぐらうなんじ。ないか」県連幹部も「ガバナンスコードは地方の我々の」といふまでは周いでいる。教団信者たる選舉を手伝わせとて何言いよんだ、とにかく感じた」と語った。

この春、自民と公明の推選で同県の多治見市長選に出た。非公明系の候補との一騎打ちだった。投票率2日前、新聞の折り込みチラシを見て、頭を抱えた。「旧統一協会と深い関係のあった人が選舉に出席している」が選舉に出でた。豈料められた政治アナリストの伊藤博夫さん(74)は「選舉を無償で手伝ってくれる教団信者の存在は、運動員の確保が難しい地方議員にとって貴重だ」と解説する。

一方で国会で、安倍晋三元首相が奈良市で選挙応援の演説中に銃撃され、死亡した事件から8日で1年となる。殺人などの罪で起訴された山上徹也被告(42)の裁判に向けた準備が進む。

山上被告は凶器となった銃の製造のほか、火薬を製造・所持したとして、銃刀法違反や火薬類取締法違反などの罪で起訴された。逮捕後、殺人容疑は認めていた。弁護団によると、「証拠の量が膨大」などとして、初公判は来年以